

教育実習生による算数の授業！

-児童の考えをつなぎながら、学びを深めました-

11月10日(火)。4年1組で教育実習生による算数の授業が行われました。

今回の学習では、「面積」をテーマに、複雑な形の面積をどのように工夫すれば求められるのかを考えました。児童は、図形をいくつかに分けたり、大きな長方形と見て余分な部分を引いたりしながら、これまでに学習したことを生かして、それぞれの方法で考えを進めていました。

授業では、児童が考えたさまざまな求め方を学級全体で共有しました。自分とは異なる考え方に触れることで、「こんな見方もできるんだ」と、複雑な図形を見る視点を広げていく時間となりました。実習生も、児童一人一人の考えに耳を傾け、そのよさを受け止めながら授業を進めていました。

教育実習は、児童に教えると同時に、児童から多くのことを学ぶ時間でもあります。目の前の児童が何を考え、どこで迷い、どのように理解を深めていくのか。その姿に向き合いながら授業をつくった今回の一時間も、実習生にとって大切な経験になったことと思います。

児童とともにつくったこの授業が、これから先生を目指して歩んでいくための、確かな一歩となることを願っています。

館林市立第五小学校
©